

平成9年 第4回定例会

「自転車等駐車場条例(有料化へ)」を可決

一般会計補正予算(補正額約一億二千万円)や市営住宅条例(入居者資格・使用料決定方法改正)を可決

平成九年第四回定例会が、十二月三日から十九日までの十七日間の会期で行われました。

今回の定例会では十人の議員が一般質問を行い、「福生市営住宅条例」を初めとする議案及び「福生市議会の議員定数削減を求める陳情書」等の審議が行われました。

本会議の経過

第一日目(三日)は、五人の議員の一般質問が行われました。

第二日目(四日)は、前日に引き続き四人の議員の一般質問が行われました。

第三日目(五日)は、一人の議員の一般質問が行われた後、議案の審議が行われ、「福生市の一般職の職員の平成九年十二月期期末手当の支給割合を定める条例」外二件が可決されました。

また、その外の議案と陳情は各委員会に審査を付託されました。

第四日目(十九日)は、各委員会に審査を付託された議案、陳情の審査報告が行われました。



降り積もる雪の中、正月の行事「どんど焼」(1月15日 かに坂公園下にて)

都市生活基盤の整備は、地域の発展と市民生活を支える基本的な条件である。都は、道路・橋梁の整備、鉄道との立体交差化や多摩都市モノレールの整備などを進めているが、十分とはいえず、今後とも多額の財源を必要としている。

国は「新たな道路整備五箇年計画」の策定が進められており、道路特定財源の確保が極めて重要である。しかし、都財政は悪化し、また、当市の財政も国・都支出金等の依存財源に対する割合が高く、大変厳しい状況となつていく。

昨今、道路特定財源の他目的への転用や公共事業費の地方重点配分の動きは、不十分な東京の都市生活基盤整備、なかでも西多摩地域の整備をさらに遅らせることになる。よって、福生市議会は、政府に対して次の事項の実現を強く要望する。

一 公共事業費の財源の確保を図ること。とりわけ、平成十年度を初年度とする新たな道路整備五箇年計画を着実に推進するため、所要の道路特定財源の確保を図ること。
二 現行の道路特定財源を、整備新幹線の建設や旧国鉄債務の償還など、他の目的に充てないこと。
三 道路特定財源の東京への配分については、ガソリン売

意見書を可決

関係各機関に提出

公共事業費の財源確保に関する意見書(要旨)

昨今、道路特定財源の他目的への転用や公共事業費の地方重点配分の動きは、不十分な東京の都市生活基盤整備、なかでも西多摩地域の整備をさらに遅らせることになる。よって、福生市議会は、政府に対して次の事項の実現を強く要望する。

公的保育を守り、保育の拡充を求めるための意見書(要旨)

また、近年低年齢児保育、延長保育など、保育の需要は高まっているが、対応は追いついていない状況にある。こうした中で都の保育の加算分の区市町村への財政支援の削減は、自治体ごとの保育水準格差の拡大に結びつき、子供たちや保護者への負担の増大は必至である。

主な内容

可決等された案件	2面
一般質問	3~5面
委員会の審査、陳情	6面

定例会の日程

11月25日	議会運営委員会	5日	一般質問
12月3日	会期の決定	9日	議案審議
12月4日	一般質問	10日	建設委員会
12月19日	議会運営委員会	11日	厚生委員会
12月25日	議会運営委員会	17日	議会運営委員会
1月3日	一般質問	19日	議案の審議、委員会審査報告等
1月4日	一般質問		議会運営委員会

上高の全国シェアなどを踏まえて拡大すること。(内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣、自治大臣、国土庁長官あて)

職員も安心して働き、よりよい保育を行ってきたと思われる。また、近年低年齢児保育、延長保育など、保育の需要は高まっているが、対応は追いついていない状況にある。

可決等された案件 (要旨)

◆福生市保育所入所措置条例の一部を改正する条例
児童福祉法の改正に伴い措置が実施となったことによる改正。

◆福生市の一般職の職員の平成九年十二月期期末手当の支給割合を定める条例
支給割合を百分の百九十とする。

◆東京都市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び東京都市町村職員退職手当組合規約の変更について
多摩ニュータウン環境組合に固有の職員が採用されることに伴う改正。

◆福生市市営住宅条例
公営住宅法の改正に伴う全部改正。

◆福生市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例
市営住宅条例の改正に伴う改正。

◆福生市借上高齢者住宅条例を廃止する条例
シルバーピア熊川を市営住宅条例により管理する。

◆福生市自転車等駐車場条例
自転車駐車場有料化のための条例の制定。

◆福生市自転車等の放置防止等に関する条例の一部を改正する条例
自転車駐車場条例の制定に伴う改正。

◆福生市非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
臓器移植法の施行に伴う改正。

◆福生市地域会館条例の一部を改正する条例
福祉会館を地域会館のさくら会館として管理する。

◆福生市福祉会館条例を廃止する条例
福祉会館が地域会館になるため。



▲整然と置かれている自転車

◆福生市市営住宅条例
公営住宅法の改正に伴う全部改正。

◆福生市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例
市営住宅条例の改正に伴う改正。

◆福生市借上高齢者住宅条例を廃止する条例
シルバーピア熊川を市営住宅条例により管理する。

◆福生市自転車等駐車場条例
自転車駐車場有料化のための条例の制定。

◆福生市自転車等の放置防止等に関する条例の一部を改正する条例
自転車駐車場条例の制定に伴う改正。

◆福生市非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
臓器移植法の施行に伴う改正。

◆福生市地域会館条例の一部を改正する条例
福祉会館を地域会館のさくら会館として管理する。

◆福生市福祉会館条例を廃止する条例
福祉会館が地域会館になるため。

討論

◆今定例会の十九日、「福生市自転車等駐車場条例」を初めとする三議案に対し、賛成、反対の討論が行われ、いずれも可決されました。ここでは、その要旨を掲載しました。

福生市保育所入所措置条例の一部改正

□反対

少子化、共働き家庭増対策を理由に改正される本条例は保育が「措置」から「実施」に変わる保護者への影響、選択の自由、導入による保育所間サービスの激化等不透明な部分が多い。保護者に不安を与え、保育の公的責任を保護者に転嫁し、保育料の負担増も考えられ、利用者・保護者に喜ばれる保育施策ではなく、反対する。

委託で効率的運営が図れるものであり、賛成する。

納得の上、数年先でもよく、反対する。

◆平成九年度福生市一般会計補正予算(第三号)

◆西多摩衛生組合規約の変更について
共同処理する事務の変更等に伴う改正。

◆平成九年度福生市一般会計補正予算(第三号)
補正額一億二千二百二十七万円。

◆財産の取得について
地震体験用起震車の買い換え。

◆市道路線の認定について
市道三二七号線の認定。

◆市道路線の廃止について
市道五四号線の廃止。

◆人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について
木村シズ子氏

◆議員提出議案
公共事業費の財源確保に関する意見書

◆公的保育を守り、保育の拡充を求めるための意見書

◆賛成
都下十八市の有料化実施市第十五市が整備センターに委託しており、市が駐車場を運営するより、十年間で二億七千万円のむだを省ける。自転車自体も高価なものが多く、市民によっては二千万円で管理が十分やっていたらけるならばという方もおり、有料化の方向はすう勢であり、賛成する。

◆反対
行政改革の名のもと受益者負担を求める自転車駐車場の有料化は、市民へ新たに大きな負担を強いるだけでなく、(財)自転車駐車場整備センターへ管理運営の委託先変更は、今まで使命感に燃え働いてきたシルバー人材センターの皆さんの気持ちも踏みにじるものであり、反対する。

◆賛成
高齢者住宅サービス運営費、生活保護費の追加、自転車駐車場運営に伴う駐車場整備センターへの負担金など福祉、都市基盤整備等施策の遂行に必要不可欠な補正であり、受益と負担、権利と義務、自由と規律、自助と互助を市民に訴えつつ一層行政改革の推進を要望し、賛成する。

◆反対
自転車等駐車場条例の反対討論で明らかにしたように自転車駐車場整備センター負担金四千二百五十万円を組んだ本補正予算は、市民に新たな負担を強いる自転車駐車場の有料化するためのものであり、反対する。

◆反対
受益者負担に全面的に反対はしないが、社会的背景の厳しい折り、市民の公的負担増は好ましくない。数年先送りしてはどうか。また委託先の駐車場整備センターについても種々問題があり、時間をかけ、研究し、市民のコンセンサスを得るよう再考を望み、反対する。

◆反対
受益者負担とは言え、だれが受益者かと言え、自転車通勤者ではなく、「JR」である。市民の大多数を占める通勤労働者を大事にするようなまちづくりのコンセプトができていない中、いたずらに有料化を急ぐ必要はない。

◆反対
ダイオキシン関連で各小中学校焼却炉廃止によるスケジュール購入など大いに進めて欲しい施策を含む補正であり、内容全体の反対ではないが、天下一役員の多い財団、駐車場整備センター負担金の十年分の前払いを含む予算であり、自転車駐車場条例と同じ理由により反対する。

「議会日誌」

11月	11日	全国市議会議長会基地協議会関東部総会	22日	例月出納検査
5日	5日	横田基地対策特別委員会行政視察(7日まで)	7日	瑞穂斎場組合議会臨時会
7日	7日	総務委員会行政視察(9日まで)	8日	全国都市問題会議(9日まで)
13日	13日	建設委員会	14日	青梅、羽村、福生地区都市下水路組合議会行政視察(15日まで)
16日	16日	議会運営委員会(市議会だより編集会議)	18日	西多摩地区議長会
21日	21日	建設委員会行政視察(23日まで)	25日	建設委員会
23日	23日	全国市議会議長会基地協議会役員会(24日まで)	27日	議会運営委員会行政視察(28日まで)
24日	24日	定期監査	28日	西多摩衛生組合議会
27日	27日	東京都収益事業組合議会	3日	第4回定例会(1日目)
28日	28日	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会	4日	第4回定例会(2日目)
29日	29日	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合行政視察(31日まで)	5日	第4回定例会(3日目)
"	"	厚生委員会行政視察(31日まで)	10日	厚生委員会
"	"	例月出納検査	11日	総務委員会
11月	19日	第4回定例会(4日目)	17日	議会運営委員会
5日	19日	第4回定例会(4日目)	17日	横田基地対策特別委員会
7日	21日	全国市議会議長会基地協議会政府予算実行運動	21日	全国市議会議長会基地協議会政府予算実行運動
11日	22日	例月出納検査	22日	例月出納検査



一般質問

(要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、十人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたずねました。三〇五面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。くわしくは、会議録を図書館でご覧ください。なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認をしております。

災害時の飲料水等

配送方法は

清水信作 議員

質問 阪神・淡路大震災を契機に、当市でも防災対策の強化に努めていると思うが、災害時の飲料水は袋詰めによる配送とのことだが、二基の袋詰め機は停電時でも実働可能か。また、これら非常食や飲料水の配分、配送方法と、備蓄庫の状況、市職員の災害時における行動マニュアルの策定は。



▲停電時は小型発電機で対応する飲料水袋詰め機

基本健康診査の受診状況は

質問 市で実施している基本健康診査はいつから始められ、受診率の動向はどうか、平成八年度の経費と国保会計におけるプラス面の影響は。

市長 昭和五十八年度から四十歳以上を対象に、平成二年度には対象年齢を三十五歳以上に引き上げ実施している。

保育園・学童保育

福祉行政の考えは

須釜亮次 議員

質問 ①介護保険法案が現在の状況で実施された場合、地域に混乱と不信を招くなど、全国市長会で慎重審議を主張しているが、法案の目的と骨子、対象範囲は。

市長 ①介護保険制度の運営主体は市町村で、一号被保



▲楽しい園児の演奏練習(昨年12月16日 つくし保育園にて)



▲新しいまち並みの完成待たれる 福生駅西口駅前通り

福生駅西口駅前通り

経過と完成後の考えは

林田 武 議員

質問 現在、何カ所かを残して買収は済み、電柱の地下埋設という福生市では初めてのケースで完成が待たれるが、完成予定を含めた事業の進捗状況は。

市長 四百五十メートルのうち平成九年度工事として二百三十メートルについて道路

プチギャラリーの状況と今後の活用は

質問 プチギャラリーは平成三年七月、総事業費一億七千五百万円かけてオープンしたが、スペースが狭すぎる、階段が急、トイレがないなど、

市長 現在の状況と施設のデメリットの改善を含めた今後の活用は。お年寄りや障害者のために、駅と併用するエレベーター設置は可能か。

教育長 平成八年度の利用状況は三百八日間の開館で二階が六十三・九%、三階が二十九・五%で、四階は東口再開発のため都市整備部が使用している。これまで利用者の声などを参考に施設の改善に努め利用の拡大を図ってきたが、

一般質問項目

(質問順)

- 清水信作 議員
 - 防災対策について
 - 災害時(大地震等)の飲料水及び非常食等の配送・配給方法について
 - 市民の健康対策について
 - 福生市基本健康診査の受診状況について
- 林田 武 議員
 - プチギャラリーについて
 - 今後の活用をどのように考えているか
 - 福生駅西口駅前通りについて
 - その後の経過と完成後の考えはあるか
 - 西多摩衛生組合贈収贈事件について
 - その後の経過と綱紀粛正について
- 須釜亮次 議員
 - 福祉行政について
 - 介護保険法について
 - 保育行政について
 - 学童保育事業について
 - 保育園入園手続について
 - 行財政改革について
 - 福生市土地開発公社について
 - 起債について
 - 福生病院のその後の経過について
 - その後の東京都、国保連合会との交渉経過について
 - 地元2市1町の管理
 - 遠藤洋一 議員
 - 横田基地について
 - 基地対策課の設置について
- 石川和夫 議員
 - 都市基盤整備について
 - 都市計画マスタープラン策定について
 - 都市計画道路3・4・3の2号線(通称陸橋通り)の現状と今後について
 - 国道16号線の進捗状況について
 - 学校教育について
 - 課外クラブについて
 - 高齢者・障害者福祉行政について
 - 在宅ケアサービスの充実について
 - 保育行政について
 - 法改正施行後の福生市の保育行政について
 - 教育行政について
 - 不登校児の現状と今後の対策について
- 田村正秋 議員
 - 交通安全対策について
 - 永田橋の通学路交通安全対策等について
 - 福祉対策について
 - ひまわり作業所の旧保健所内への導入について
 - 保養所について
 - 日帰りの補助等について

福生病院移管 その後の経過は

除者は六十五歳以上の高齢者、二号被保険者は四十歳から六十五歳未満の医療保険加入者、対象範囲は十二種類の在宅サービスと三種類の施設サービス、保険料は平成十二年度から三年平均で一人当たり月額二千五百円程度、費用負担は利用者が一割、残りを公費と保険料で二分の一ずつとなつていく。

② 四年生までの受け入れ、利用時間延長、保護者負担導入の検討をしていきたい。保育園入園手続きは、市町村が措置として入園を決める仕組みから保護者が選択できるように明文化され、入園手続きも利用者の利便に資するものに改正された。

質問 都国保団体連合会及び福生病院との交渉経過、地元二市一町の管理者会議の経過は、

市長 連絡協議会は、移管条件の隔たりで協議が整わず、その後開催されなかったが、本年担当部長と助役を含めた会議を三回開催し、七月には都も含めた連絡協議会を開催したが、後年度負担の部分で行き詰まり不調に終わった。八月には二市一町首長会議を開催し、莫大な財政負担について検討を要するとの結論から防衛施設庁に費用面での働きかけを行っているが、厳しい状況である。

都市計画マスタープラン等 策定の状況は

石川和夫 議員

質問 ①都市計画マスタープラン策定のアンケート調査、まちづくり委員会の設置、相談窓口の開設などを行ってきたが、市民の意識、考え方が、市の意向、考え方、予算の裏付け、具体化へ向けてのプログラムは、

市長 ①アンケート調査や相談窓口において大きな問題提起はない。都市計画マスタープランの中から実現できるもの



▲拡幅待たれる陸橋通り(熊川の内出東交差点)

横田基地について

遠藤洋一 議員

質問 ①基地の被害やさまざまな渉外も含めて基地対策課設置の考えは、

②平成九年度の基地交付金、普通交付税の基地対策分は、

③横田基地への思いやり予算の額と、その実態は、

市長 ①現在の市の行政規模、職員数の関係を考えあわせ、この時期に基地対策課の設置は困難と思っている。

②基地交付金は総額で十二億八千八百六十五万八千円、対前年比〇・三%の減である。



▲在日米軍横田基地

の総合計画や実施計画に盛り込んでいくが、国や都の補助金の予測がつかないままの予算の裏付けは困難である。

②平成八年十一月に基本幅員二十二メートルで都の合意が得られ、その後地元説明会、都市計画変更手続きを進め、

十二月の東京都都市計画地方審議会を経て来年二月に告示の予定。今後は用地測量に向けた地元説明会を開催することになっている。

③都市計画変更、環境アセスの説明を行い、原案どおり決定され、その後東京都都市計画地方審議会に諮問、建設大臣の認可を受け本年七月に告示された。昭島市についても同様の状況である。

課外クラブに 外部指導員の導入を

今林昌茂 議員

質問 クラブ活動、課外クラブに対して外部指導者の活用を行うべきと思うがどうか

教育長 中央教育審議会や保健体育審議会の答申で外部指導員の導入を促進しており、これら答申の趣旨を踏まえ平成十年四月から導入していきたい。ただし、教師の指導が不十分になったり、勝利至上主義や人格形成の目的を逸脱しないよう各学校に指導してまいりたい。

在宅ケアサービスの充実に 医師の協力を

原 敏子 議員

質問 厚生委員会で福岡市の在宅ケアシステムと広島県御調町の在宅福祉介護センターを視察したが、医師会の協力が大きなウエイトを占めたすばらしいものであった。福祉水準を決めるものは医師の協力と言っても過言ではなく、また地域福祉計画の達成に欠かすことのできない

市長 在宅の寝たきり高齢者・障害者への訪問看護ステーション、また医療ケアと生活のサービスを提供する老人保健施設の整備・充実に進めたいが、医師や看護婦の御理解、御協力をいただかないと難しい面がある。



▲福祉センターで行なわれたホームヘルパー養成講習

○防災対策について
○環境と清掃行政について
○ごみ処理に対するダイオキシン対策について
○住宅行政について
○高齢者の賃貸住宅の状況について
○乳幼児医療対策について
○道路行政について
○JR八高線東福生駅北側の福生第三号踏切の拡幅について
○JR福生駅南側の中新道踏切の進捗状況について
○来年度の予算編成について
○財源確保の具体策について
○使用料、手数料、負担について

○補助金制度の見直しについて
○経費の削減について
○組織改正と人件費の抑制策にどう取り組むか
○ごみ行政について
○都市基盤整備について

○福生駅西口通りの見直しについて
○陸橋通りの見直しについて
○福生駅東口地区市街地再開発事業の進捗状況について

○基地問題について
○「ガイドライン」のもとで、横田基地の強化が考えられるが、市長の見解は
○入札業者からの寄附について
○駅前駐輪場について
○利用状況について

○金等の値上げはあるのか
○補助金制度の見直しについて
○経費の削減について
○組織改正と人件費の抑制策にどう取り組むか
○ごみ行政について
○都市基盤整備について

○JR八高線東福生駅北側の福生第三号踏切の拡幅について
○JR福生駅南側の中新道踏切の進捗状況について
○来年度の予算編成について
○財源確保の具体策について
○使用料、手数料、負担について

○駅前駐輪場について
○利用状況について

○金等の値上げはあるのか
○補助金制度の見直しについて
○経費の削減について
○組織改正と人件費の抑制策にどう取り組むか
○ごみ行政について
○都市基盤整備について

○福生駅西口通りの見直しについて
○陸橋通りの見直しについて
○福生駅東口地区市街地再開発事業の進捗状況について

○基地問題について
○「ガイドライン」のもとで、横田基地の強化が考えられるが、市長の見解は
○入札業者からの寄附について
○駅前駐輪場について
○利用状況について

○金等の値上げはあるのか
○補助金制度の見直しについて
○経費の削減について
○組織改正と人件費の抑制策にどう取り組むか
○ごみ行政について
○都市基盤整備について

○福生駅西口通りの見直しについて
○陸橋通りの見直しについて
○福生駅東口地区市街地再開発事業の進捗状況について

○基地問題について
○「ガイドライン」のもとで、横田基地の強化が考えられるが、市長の見解は
○入札業者からの寄附について
○駅前駐輪場について
○利用状況について

○金等の値上げはあるのか
○補助金制度の見直しについて
○経費の削減について
○組織改正と人件費の抑制策にどう取り組むか
○ごみ行政について
○都市基盤整備について

○福生駅西口通りの見直しについて
○陸橋通りの見直しについて
○福生駅東口地区市街地再開発事業の進捗状況について

○基地問題について
○「ガイドライン」のもとで、横田基地の強化が考えられるが、市長の見解は
○入札業者からの寄附について
○駅前駐輪場について
○利用状況について

○金等の値上げはあるのか
○補助金制度の見直しについて
○経費の削減について
○組織改正と人件費の抑制策にどう取り組むか
○ごみ行政について
○都市基盤整備について

不登校児の 現状と対策は

質問 秋田市の不登校児対策

施策「フレッシュフレンド派遣事業」を視察し、その実績と、教育委員会の熱意ある姿勢に感動したが、当市の現状と今後の対策はどうか。

教育長 学校嫌いによる長期欠席者、小学校が三十日以上十七名、うち五十日以上十名、中学校が三十日以上三十九名、うち五十日以上二十八名である。個別指導の充実、各種連携の密接化、教育相談活動の充実、教員研修の充実等に加え、新たに国のカウンセラー活用調査研究開始と、カウンセラー配置が実現されるよう都教育委員会と連携を強め、また教育相談員の学

校配置制度導入を具体的に検討したい。当市の実情に無気力型、情緒的混乱型、遊び・非行型登校拒否が多いので、若年相談員

導入等も研究課題にしたい。

○金等の値上げはあるのか
○補助金制度の見直しについて
○経費の削減について
○組織改正と人件費の抑制策にどう取り組むか
○ごみ行政について
○都市基盤整備について

○福生駅西口通りの見直しについて
○陸橋通りの見直しについて
○福生駅東口地区市街地再開発事業の進捗状況について

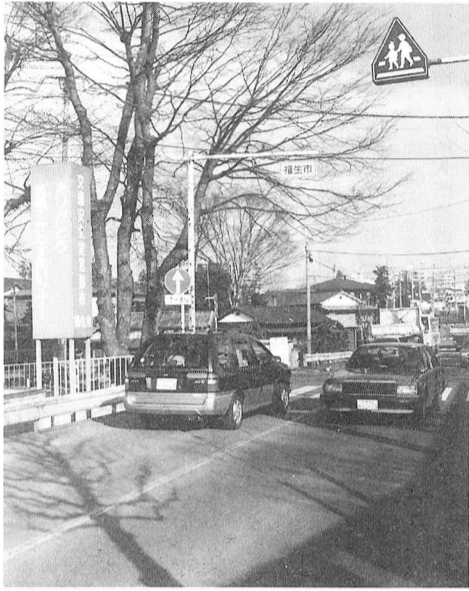
○基地問題について
○「ガイドライン」のもとで、横田基地の強化が考えられるが、市長の見解は
○入札業者からの寄附について
○駅前駐輪場について
○利用状況について

永田橋周辺の交通安全対策は

田村正秋 議員

質問 多摩川上流域域雨水幹線工事が進む中、小中学校の通学路でもある永田橋周辺道路は朝夕のラッシュ時には危険な場所となっている。以前から信号機設置や陸橋下を通す道路確保が提案されているが、どうなっているのか。

市長 雨水幹線の工事車両の出入口になる遊歩道、市道等は道路利用者の利便性から閉鎖せずに行い、作業時間帯



▲通学路でもある交通の激しい永田橋付近

に保安要員を確保し、安全対策に万全を期したいとのこと

ひまわり作業所 移転の進捗状況は

質問 精神障害者の社会復帰の場所であるひまわり共同作業所は老朽化が進んだ現在、旧保健所敷地内に移転とのことであるが、いつ実現され、敷地内の内容、契約、法人化等の問題はどうか検討されているのか。また家賃や光熱水費は、市の施設内に移転の場合でも補助金は確保されるのか。

市長 建築スケジュールは決まっていないが、設計から完成まで少なくとも八カ月かかるので、手続を含め、早くても来年十二月ごろになる。法人化、賃貸借契約等施設完成後の問題は精査検討しているところである。また家賃が無料になっても補助額に変化はない。

リサイクルセンター稼働 これからのごみ減量化対策は

小野沢 久 議員

質問 リサイクルセンターの稼働、リサイクルプラザのオープン等を背景に「ごみ元年」として一層減量化対策が望まれるが、その対策は



▲リサイクルプラザも完成したリサイクルセンター (熊川1562番地先)

市長 ごみ収集日数の見直し、資源収集品目の充実と収集方法、事業系廃棄物の減量について、昨年廃棄物減量等推進審議会に諮問し、その答

10年度予算 基本的考えは

質問 都も大幅な税収減により各市町村への財政援助大幅見直しの状況にある。理事者、職員がそれぞれコスト意識を持ち、民間の厳しさを踏まえた予算編成に当たっていただきたい。

① 10年度予算編成の基本考え方は。

② 食糧費等経費の削減にどのように取り組むのか。

③ 給料表の見直し等組織改正と人件費の抑制策にどう取り組むのか。

市長 ① 一つに自主財源の確保に努め、経常経費の見直し、

申を得たので、これらの具体策を現在検討中である。結論が出次第報告したい。

徹底した節減・抑制による財源の重点的、効率的配分に努めること。二つに重点施策の計画的、効率的執行を図るとともに、市民福祉の向上に向けた施策の展開。三つに長期的視点の財政運営で市民に信頼される活力ある市政の実現。

② 旅費や需用費等経常経費は創意工夫による効率的執行と節減に努め、食糧費は平成九年度において、飲酒を伴う会議等賄いについては、原則廃止し、平成十年度は、食料代、菓子代も原則廃止とした。

③ 緊急の行政需要や市民ニーズにあわせ、弾力的な組織の構築を検討し、職員数の見直しと配置人員の適正化に努めたい。また、職務職階制の導入と新給料表の提案を予定している。

中新道踏切などの拡幅を

今林昌茂 議員

質問 ① JR八高線東福生駅北側の福生第三号踏切は、大変狭いうえに交通量も多いので、常に交通事故の危機に



▲狭い東福生駅北側の福生第三踏切

さらされているが拡幅の考えは。

② 福生駅南側の中新道踏切も大変危険なところであるが、

拡幅の進捗状況はどうか。

市長 ① JRは八高線の複線化に向け用地を買収中で、踏切の統廃合の基本姿勢を打ち出しているが、市としては福生第三号踏切を含め、他の協議箇所についても立体化、拡幅等の基本的な姿勢を堅持していきたい。

② 要望書を提出するなど再三お願いしてきた中で都から、JRとの調整を平成九、十年にかけて行い、具体的施工の協定を結び、平成十年に予算要望、十一年度に予算措置を図り拡幅整備をしていきたいという回答をいただいた。

療制度の拡充が重要であり、

都では就学前までの医療費助成の議論がされている。また本年九月導入の薬剤費一部負担制度でも六歳未満の子供の負担を免除している。乳幼児医療制度における所得制限を撤廃し、就学前までの助成拡充ができないものか。

市長 都の制度に準じ、平成五年度から実施している制度であるが、就学前までの対象拡大については少子化の進行の中、安心して出産、育児ができるよう都に要望してきたが、平成十年十月より現行の満三歳未満を満四歳未満に拡大する方向で検討されており、都の動向を見ながら都制度に準拠して実施していきたい。

新ガイドライン 横田基地の強化は

松山 清 議員

質問 これまでのガイドラインでの任務は極東有事への対応だったが、今後は周辺事態というアジア・太平洋地域のどこにでも発動できるようにしたことであるが、新ガイドラインのもとで一段と横



▲在日米軍横田基地の誘導灯 (熊川1577番地先)

田基地の強化が考えられるが、市長の見解は。

市長 ガイドラインの見直しにより最も危惧しているのは、例えば周辺事態により日本に移送された傷病者の治療や国内での移送などが考えら

る。こうした場合を想定して周辺自治体でもあらかじめ協議が必要と思いい、先日の都と五市一町連絡協議会に提起した。

に対する市長の見解と対応を伺いたい。

市長 金銭の受け入れは政治資金規正法に基づく資金管理団体の届け出をした私の後援会が東京都選挙管理委員会へ法律に基づき報告し、きちんとした手続きを踏んだものであるが、報道は、全くかわりがない私にとって許しがたい記事であったので文書により抗議を行ったものである。今後はこのような誤解を招かないよう、政治資金規正法の枠内であってもこうした金銭は一切受け取らない方向で慎重に取り扱ってまいりたい。

乳幼児医療 助成制度の拡充を

質問 少子化社会において育児を支援するには乳幼児医

議会を傍聴しまじゅり

次の定例会は平成10年3月4日(水)からの予定です。本会議の傍聴はごなすもできます。くわしくは、議会事務局にお問い合わせください。

551-1511 (内線512)

委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、付託された議案と陳情及び継続となっていた陳情の審査が十二月九日、十日、十一日の三日間、建設・厚生・総務の順で行われました。

また、議会運営委員会では、十一月二十五日、十二月三日、四日、十七日、十九日に行われました。

ここでは、各委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

建設委員会

付託された補正予算関係二件、道路認定と廃止二件、陳情書四件について、現地視察後、審査しました。

◎平成九年度福生市一般会計補正予算(第三号)

商工費の一千五百六十万円の補正は、福生駅西口駅前通り拡幅工事に伴い電柱等が地下に埋設され七夕飾りの竹が設置できないため飾り用の支柱を設置する工事費と、銀座商業会の装飾街路灯取替工事の入札差金による減額であるとの説明に、原案どおり可決しました。

厚生委員会

条例改正と廃止四件、補正予算一件、陳情書九件を審査しました。

◎福生市保育所入所措置条例の一部を改正する条例

従来の「保育所入所措置」が「保育の実施」に変わるもので希望選択制の中で実施し、保育の内容は基本的には従来と変えないとの説明があり、起立採決により原案どおり可決されました。

◎福生市借上高齢者住宅条例を廃止する条例

既存の借上高齢者住宅を、

総務委員会

条例及び条例改正六件、補正予算一件、同意一件、陳情書十二件を審査しました。

◎福生市営住宅条例

入居者資格、使用料決定方法等の改正で、委員の質問に、使用料が上がる想定される方が約二十五%、余り変化がない方が約七十五%。また建替計画の二百七十戸増は、住宅の質や世帯の特徴をとらえ、

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の日程、議案や陳情の審査順序、委員会付託、即決の決定ほか、議会だよりの編集や特定事件を審査します。

今定例会中の委員会では、二件を審査しました。

◎福生市議会の議員定数削減を求める陳情書

過去、当委員会の特定事件



▲付託された案件を審査する総務委員会委員

◎平成九年度福生市下水道事業会計補正予算(第三号)

流域下水道債と公共下水道事業債を増額して繰り上げ償還し、利率変更による利子減額の相殺で、予備費を充当し、財源調整を行うとの説明に、委員から借り入れ利率について質問がありましたが原案どおり可決しました。

◎市道路線の廃止について

委員の質問に、生活道路の赤道は国有財産であり、一般交通の用に供されていない状況にあるので市道認定をはずし国の管理へ移行するもので、地元の払い下げ要望に基づき払い下げをしていくことになるとの説明に原案どおり可決しました。この外、陳情書四件を審査しました。

市営住宅条例と同様に管理するもので、委員の質問に、入居条件の年齢等は変わらないが、収入基準が変わり現在入居の方は家賃が下がり、少し収入の多い方も入居出来るようになるとの説明に異議なく可決されました。

◎平成九年度福生市一般会計補正予算(第三号)

委員からの質問に、デザイナーは事業費の基準額が設定され、実績が満たなければ減額になる。生活保護費は、当初低めに押さえたことが補正につながったとの説明に異議なく可決されました。

◎公的保育を守り、保育の拡充を求めるための意見書の提出に関する陳情書

都の財政健全化計画実施案の再検討を行うもので、保育行政の水準を保つために、全員異議なく採択と決定しました。その外プラスチック製品の製造規制等を求める陳情書など八件を審査しました。

陳情

各委員会で審査された陳情の結果は、次のとおりです。

継続

◎陳情第九十二号 子供たちの命と安全を守るために、二学級以下学年と障害を持つ児童のいる学年の水泳指導時に補助要員の配置を求める陳情書

◎陳情第九二十五号 公的保育を守り、保育の拡充を求めるための意見書の提出に関する陳情書

採択

- ◎陳情第八十九号 プラスチック製品の製造規制等を求める陳情書
- ◎陳情第八十号 乳幼児医療費助成制度における所得制限の撤廃を求める陳情書
- ◎陳情第八十六号 私立幼稚園保護者負担軽減補助の所得制限の廃止を求める陳情書
- ◎陳情第九十一号 成人歯科健診事業の充実を求める陳情書
- ◎陳情第九十六号 「未臨界核実験」など、あらゆる形態の核実験に反対する意見書採択に関する陳情書
- ◎陳情第九十七号 駿河建設による住宅専用マンション建設に関する陳情書
- ◎陳情第九十八号 公務員賃金の改善要求実現と人事院勧告の凍結・値切りに反対する陳情書
- ◎陳情第九十九号 アメリカの軍事行動に日本を自動的に参戦させる、日米防衛指
- ◎陳情第九十三号 市内在の公共施設への案内標識設置を求める陳情書
- ◎陳情第九十号 やなぎ通りと加美立体通の交差点に道路照明増設を求める陳情書
- ◎陳情第九十一号 北田園二丁目八番、同一三番、同
- ◎陳情第九十八号 可燃ごみの毎日収集廃止に関する陳情書
- ◎陳情第八十七号 市内全ごみ収集所における資源回収実施を求める陳情書
- ◎陳情第八十八号 「資源の日」を不燃ごみ収集日の前日とすることを求める陳情書
- ◎陳情第九十号 国民生活重視の財政再建を求める意見書の採択を求める陳情書
- ◎陳情第九十二号 「国民の祝日に関する法律」の改正の実現に関する陳情書

審議未了

- ◎陳情第九十三号 東町一番地と同一番地の間に街路灯設置を求める陳情書
- ◎陳情第九十三号 老人福祉バスの停留所標識設置を求める陳情書
- ◎陳情第九十四号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書
- ◎陳情第九十六号 針ヶイドフイン見直しに反対する陳情書
- ◎陳情第九十一号 アメリカの「未臨界核実験」の中止とあらゆる形態の核実験禁止、核兵器廃絶の実現を求める意見書提出についての陳情書
- ◎陳情第九十四号 福生市議会の議員定数削減を求める陳情書
- ◎陳情第九十六号 身体障害者用公衆電話ボックスの設置をNTTに要望することを求める陳情書
- ◎陳情第九十七号 視覚障害者用交通信号機を設置することを求める陳情書
- ◎陳情第九十八号 市の公共施設へのわかりやすい名称をのしるした看板等の設置を求める陳情書
- ◎陳情第九十九号 市内在の公共施設への案内標識設置を求める陳情書
- ◎陳情第九十号 やなぎ通りと加美立体通の交差点に道路照明増設を求める陳情書
- ◎陳情第九十一号 北田園二丁目八番、同一三番、同

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

十二月十七日に開催され、平成九年度補助事業や基地地交付金を協議しました。

◎平成九年度防衛補助事業の実施状況について

周辺対策事業として、市道舗装補修事業、公園の新設二本、消防ポンプ車購入、一小他二校、市民会館外三方所の防音機能復旧事業、三中講堂改造除湿温度保持事業、武蔵野地区学習等供用施設新設事業、調整交付金事業として市道整備事業、地域体育館駐車場新設事業等の進捗状況が報告されました。

また、九年度の助成交付金は十二億八千八百六十五万八千円(前年比〇・三%減)調整交付金は二億七千四百四十五万四千円(前年比同率)との確定報告がされました。

その外、米空母艦載機飛行訓練中止要請及び東京都と周辺市町連絡協議会の報告に異議なく終了しました。

編集後記

市議会だより第119号をお届けいたします。本号は平成九年十二月定例会の審議事項と結果及び、市政全般にわたる活発な一般質問の内容を中心に編集いたしました。

市議会だよりに対する皆さまのご意見をお寄せください。

◇編集委員(議席順)

松山 清 遠藤洋一
須釜亮次 大野悦子
小野沢久 東田正治
林田 武